

平成 29 年第 5 回（11 月）瀬戸内市議会定例会一般質問通告一覧表

発言 順序	議席番号 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を 求める者
1	4 番 日下俊子	1. 人口減少対策について	(1) 縁結びサポーターの活動状況は (2) おかやま縁結びネットとの連携は (3) 人口流出を食い止める対策が必要では	市 長 担当部長
		2. 災害時の避難対応について	(1) 本市の避難勧告等に関するガイドラインの市民への周知は (2) 災害の種類によって避難場所が異なるが、市民に一目でわかるような資料を配布できないか (3) 地域住民数等を勘案した避難所の整備が必要ではないか	市 長 副 市 長 担当部長
2	7 番 河本裕志	1. 高齢者徘徊対策促進事業について	(1) 事業の概要は (2) QRコード付きシール等の活用をどのように考えているのか (3) 今後の実施計画は (4) 市民への周知をどのようにするのか	市 長 担当部長
		2. 子育て支援について	(1) 保育料などは世帯の税額等による応能負担となっているが、日常の子育てにかかる費用は経済的に厳しい家庭にも同じようにかかる。その対応について市の考えを問う ① 保育園における市民税非課税世帯の児童数は ② そのうち0歳児から3歳児までの児童数は ③ 所得状況等に応じて、育児に必要な物品購入に対する助成はできないか	市 長 担当部長
		3. 工業団地について	(1) 進捗状況はどうなっているのか (2) 具体的な企業誘致の計画はあるのか	市 長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を 求める者
3	6 番 厚東晃央	1. 国民健康保険税の引き下げについて	(1) 国民健康保険税の引き下げのため、国民健康保険特別会計の財政調整基金の活用や一般会計から財政安定化支援事業繰入金繰り入れを決断すべきではないか	市 長
		2. 学童保育（放課後児童クラブ）について	(1) 平成 30 年度の児童の受け入れに必要な支援員等の確保が難しい放課後児童クラブもあるが、市としての対応は (2) 市の直営にするべきではないか	市 長 担当部長
		3. 教育環境の充実等について	(1) 幼稚園や小・中学校の給食費の軽減・無料化に向けた検討状況は (2) 小・中学校で必要な備品や施設の充実を図るべきではないか (3) きめ細やかな指導を行うため、特別支援学級のクラス編制等を見直すべきではないか	市 長 副 市 長 教 育 長 担当部長
4	12 番 小野田光	1. 市長の政治姿勢について	(1) 平成 29 年度の瀬戸内市中期財政計画は大変厳しい内容であり、今後の市政運営は市長の舵取りにより左右されるところが大きいと思われるが、今後の事業の方向性や行うべき改革をどう考えているのか	市 長
5	18 番 室崎陸海	1. 道の駅の活用について	(1) 道の駅を防災拠点として位置づけ、整備しては	市 長 担当部長
		2. 外郭団体等への関与について	(1) 外郭団体等の運営について、市の関与を制限していくべきでは	市 長 担当部長
		3. 弁護士への相談について	(1) 平成 28 年度中に、市が弁護士へ相談した件数、その委託料と訴訟等の件数、弁護士委託料は (2) 市民からの疑義を招かないようにどう対応していくのか	担当部長

発言 順序	議席番号 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を 求める者
6	8 番 竹原 幹	1. 介護保険について	(1) 介護予防・生活支援サービス事業が始まったが、通所型サービスの元気アップデイとはどのようなものなのか	市 長 副 市 長 担当部長
		2. 自治体間の連携について	(1) 連携中枢都市圏での図書館相互利用事業に加わらなかった経緯と理由は	市 長 副 市 長 教 育 長 担当部長
		3. 国・県への要望について	(1) 市としての重点要望を取りまとめ、継続的に働きかけては	市 長
7	17 番 日下敏久	1. 今後の病院改革について	(1) 管理運営面における改革の進捗状況は (2) 医師、看護師、職員の意識改革は	市 長 病院事業管理者 担当部長
		2. 格差のない市政について	(1) 下水道事業の現状と今後の計画は (2) 地域公共交通網の現状と今後の取り組みは (3) 保育園、幼稚園、小学校、中学校でのエアコンの整備は	市 長 副 市 長 教 育 長 担当部長
		3. 「あいさつのまち瀬戸内市」の宣言について	(1) 市民、児童・生徒、市職員等であいさつ運動の取組状況は	市 長 副 市 長 教 育 長 担当部長
		4. 認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）について	(1) 認知症初期集中支援チームの体制と活動内容は (2) 地域での支援隊、認知症地域支援推進員の設置と活動状況は	市 長 副 市 長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を 求める者
8	2 番 角口隼一	1. 市内へ居住する職員の増加策 について	(1) 市民サービスの向上のためには、職員がより地域愛を持つ必要がある。そのために、政策的に職員の市内居住推進が必要である と考えるが、手当を支給するなどの検討をしては (2) 職員採用に関して移住・定住者枠を創設する考えは	市 長 副 市 長 担当部長
		2. 市所有の土地の管理について	(1) 市が所有する土地の管理が充分に行われていないため、周辺住 民が迷惑を受けている例があるが、対応策は	市 長
		3. 医療費の抑制策について	(1) 特定健診・がん検診事業の拡充策は (2) 高齢者の健康寿命延伸に向けた方策は (3) 小児医療費の抑制策は	市 長 副 市 長 病院事業管理者 担当部長
9	3 番 高間直美	1. リボンキャンペーン啓発活動 について	(1) 啓発活動をどのように進めているのか (2) より効果的に市民に啓発できる取り組みをしてはどうか	市 長 担当部長
		2. がん教育について	(1) 学校教育でどのように推進していくのか (2) 専門家の協力が必要になるが、どのように働きかけていくのか (3) 担当する医師や先生方のための研修をしてはどうか	市 長 教 育 長 病院事業管理者 担当部長
		3. シビックプライドの醸成につ いて	(1) 地域に対する誇りを醸成する取り組みを各部局はどう進めてい るのか (2) 学校での歴史学習の現状は (3) 瀬戸内市郷土検定を実施し、ボランティアガイドや歴史伝道師 の認定をしてはどうか (4) 学芸員が市民に対する講座をする機会を増やしてはどうか	市 長 教 育 長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を 求める者
10	5 番 布野浩子	1. 図書館行政について	(1) 「ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2017」の大賞を受賞後、市内外から多くの方が来られている。駐車場の幅が狭くて使いにくいという意見についてどう対処するのか (2) すべての市民が瀬戸内市民図書館もみわ広場に行くことができるようにする必要があるが、その方策は (3) 移動図書館車せとうちまー号の更なる活用を考えたかどうか	市 長 副 市 長 教 育 長 担当部長
		2. 観光振興について	(1) 朝鮮通信使に関する記録が世界の記憶（世界記憶遺産）に認定され、観光客の増加が想定されるが、市としてどう対応するのか ① トイレや駐車場の整備が必要ではないか ② ストーリー性のある観光振興を考えては (2) 楽しくまちを歩いてもらえる仕掛けを考えたかどうか	市 長 副 市 長 教 育 長 担当部長
		3. 地域の課題解決について	(1) 協働提案事業の成果と課題は。また、市の考える協働とはどういうものなのか (2) 地域一括交付金制度の検討状況は	市 長 副 市 長 担当部長
11	1 番 岡國太郎	1. 世界の記憶（世界記憶遺産）認定及び「ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2017」大賞受賞について	(1) 朝鮮通信使関連資料の世界の記憶（世界記憶遺産）認定及び瀬戸内市民図書館の「ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2017」の大賞受賞を、どのように観光行政やシビックプライドの醸成に生かすのか。また、その具体策は	市 長 教 育 長
		2. 市営バスの利用状況と利用者増の方策について	(1) 11月から運行を開始した市営バスの一か月間の利用状況と収益状況は (2) 今後の利用者増に向けての方策は	市 長 副 市 長 担当部長
		3. 相次ぐ浸水被害への対応策について	(1) 繰り返される浸水被害への対応策とその予算化はどのように考えているのか (2) 浸水地域について、雨量や遊水池等での緩衝できる水量など具体的・科学的データに基づき、その根本的な治水対策を行うべきだと考えるが、今後の計画は	市 長 副 市 長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を 求める者
12	14 番 馬場政教	1. 農業政策について	(1) 人・農地プラン（地域農業マスタープラン）により持続可能な力強い農業をどのように進めているか (2) 再生可能な遊休農地について、農地中間管理機構と瀬戸内市振興公社の役割をどのように考えているのか	市 長 副 市 長 担当部長
		2. 障害者差別の解消について	(1) 幅広い分野の関係者が参画する障害者差別解消支援地域協議会の設置が必要ではないか (2) 障害のある児童・生徒等に対する教育について、国は合理的配慮の例としてデジタル機器の活用を挙げているが、どのように対応するのか	市 長 副 市 長 担当部長
		3. 災害への対応について	(1) 千田川、千町川の河川改良・改修、そして、排水ポンプ等の整備を国に対してどのように要望しているのか	市 長
13	10 番 島津幸枝	1. 小・中学校の通学区域について	(1) 通学区域の境界にある地域で、区域外になるが、家から近い学校に通わせたいという声を聞く。通学区域の境界にある地域については、弾力的運用を検討しては	教 育 長
		2. 介護保険について	(1) 第7期介護保険計画での介護保険料の見通しは (2) 介護予防・日常生活支援総合事業への移行に伴い、要支援の方からサービスに対する不安な声を聞くが、対応策は (3) 家族介護慰労金制度創設の検討状況は	市 長 担当部長
		3. 新火葬場建設計画について	(1) 岡山市との協定をいつ、どのように結ぶのか (2) 事業の進捗状況と今後の計画及び実施体制は	市 長 副 市 長 担当部長
		4. 地域一括交付金制度について	(1) 地域一括交付金制度の協議をしているとのことだが、市としての方向性は (2) 来年度の事業計画及びそれに伴う予算は	市 長 担当部長

発言 順序	議席番号 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を 求める者
14	16 番 廣田 均	1. 中期財政計画について	(1) 財政適正化計画の具体的な取り組みは	市 長 副 市 長 教 育 長 病院事業管理者 担当部長
		2. 護岸、堤防の補強について	(1) 台風等の風波による決壊の危険性がある牛窓紺浦地区の現状と対策は (2) 牛窓中浦地区の浸水防止対策は	市 長 副 市 長 担当部長
		3. 港湾の防波堤について	(1) 防波堤の補強工事の進捗状況は	市 長 副 市 長 担当部長
		4. 子育て支援について	(1) 学童保育（放課後児童クラブ）について、高学年になっても入所したいという要望を聞くが、市として現状をどのように把握しているのか。また、その対策は (2) 保育園の待機児童の状況は	市 長 副 市 長 担当部長
15	15 番 小谷和志	1. 災害対策について	(1) 防災行政無線が聞こえない、聞こえにくい地域への具体的な対策は (2) 砂防ダムや池の土手、山の斜面などで崩落の恐れがあるところへの今後の対応は (3) 長船地域内の干田川流域の浸水箇所への具体策と実施状況は	市 長 副 市 長 担当部長
		2. 道路の改善について	(1) 市道、農道で舗装や改修が必要な箇所の把握と対応は (2) 通学路で舗装や改修が必要な箇所の把握と対応は (3) 県道瀬西大寺線の本庄地内の改良が課題となっているが、その後の進捗状況は	市 長 担当部長
		3. 学校給食について	(1) 献立は各調理場でどのように決定しているのか (2) 邑久学校給食調理場は民間委託となるが、他の調理場はどのようにするのか	市 長 教 育 長 担当部長

